

自立活動（聴覚障害教育）

平成26年度特別支援学校教員資格認定試験問題（第2次）

自立活動に関する科目（Ⅱ）

（問題1～問題6 全6問）

時間 9：30～11：10（100分）

（受験上の注意）

- 1 監督者の「始め」の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題冊子は、表紙を除いて1ページです。  
試験中に印刷不鮮明、落丁等に気づいた場合には手を挙げて監督者に知らせてください。
- 3 解答は、論述式です。
- 4 解答用紙は、問題別に8枚あります。ホチキスの針は、はずさないでください。  
別に下書き用紙が1枚あります。  
すべての用紙に、
  - ① 種目欄  
受験する種目の□欄に✓を記入してください。
  - ② 受験番号欄  
受験番号を記入してください。
  - ③ 氏名欄  
氏名を記入してください。
- 5 解答は、問題と同じ番号の解答用紙に記入してください。  
解答用紙のおもて面に書ききれない場合は、うら面に記入してください。  
解答用紙の※欄は採点欄です。何も記入しないでください。  
筆記用具は、黒鉛筆を使用してください。
- 6 この試験の解答時間は、「始め」の合図があってから、100分です。
- 7 試験開始後30分間、試験終了後10分間は退室を認めません。  
途中退室をする場合は、解答用紙と下書き用紙を裏返しにして退室してください。  
問題冊子は持ち帰ってください。
- 8 監督者の「やめ」の合図がありましたら、解答を直ちにやめ、解答用紙と下書き用紙が回収されるまで、着席したまま待っていてください。

問題 1 インクルーシブ教育システムの構築が図られるなかで、特別支援学校(聴覚障害)の果たすべき役割について述べなさい。

問題 2 特別支援学校(聴覚障害)の小学部段階で、読解力をつけるために、どのような指導が必要か述べなさい。

問題 3 特別支援学校(聴覚障害)に在籍する生徒を対象に、社会自立に向けた障害認識について指導したい。指導内容として考えられることを挙げ、具体的に説明しなさい。

問題 4 聴覚障害のある児童生徒が通常の学級で学習する場合の、聴覚障害によるストレスについて具体的に挙げ、対処法について述べなさい。

問題 5 新生児聴覚スクリーニング検査の要再検(refer)の意味について述べなさい。また、耳鼻科で難聴の診断を受けて、特別支援学校(聴覚障害)を訪れた家族に対して、乳幼児教育相談の担当者が行うべき説明と配慮事項について述べなさい。

問題 6 次の語句のうちから、三つを選んで説明しなさい。  
解答の初めに、選択した語句と、その番号を書いてください。

- (1) 高橋 潔
- (2) 障害者差別解消法
- (3) 絵日記指導
- (4) 音韻意識
- (5) 補聴器装用閾値
- (6) 先天性風疹症候群による難聴